



帝京大学 50 周年記念・帝京大学メディアライブラリーセンター 10 周年記念  
一般社団法人日本ペンクラブ・帝京大学メディアライブラリーセンター共催



# 「日本文学、世界文学のいま」

—日本ペンクラブ獄中作家・人権委員会シンポジウム—

世界の作家たちは、どのように「世界のいま」を表現しているのでしょうか。世界の作家を取り巻く状況は、いまどうなっているのでしょうか。日本ペンクラブの歴史ある活動である「獄中作家支援」・「人権」という観点も交えながら、作家・研究者が語り合います。

日時： 2月28日（火）午後2時～午後4時30分（開場：午後1時30分）

場所： 帝京大学メディアライブラリーセンター（MELIC）

BF メディアラウンジ

入場料：無料（事前申込制・定員になり次第締切ります。当日受付も可能です。）

## —プログラム—

挨拶・日本ペンクラブ獄中作家委員会の紹介

西木正明（日本ペンクラブ副会長・獄中作家・人権委員長 作家）

第一部 講演 「日本文学は、いま」

浅田次郎（日本ペンクラブ会長 作家）

第二部 リレートーク「世界文学は、いま」

「ラテンアメリカ文学は、いま」

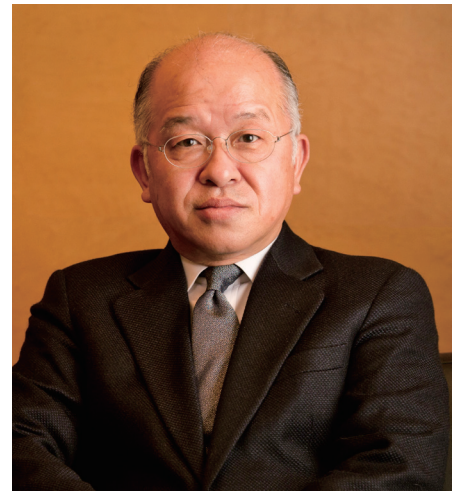
田村さと子（日本ペンクラブ獄中作家委員 帝京大学外国語学部教授  
帝京大学メディアライブラリーセンター館長）

「アジア文学は、いま—中国・台湾文学を中心に」

藤井省三（日本ペンクラブ獄中作家委員 東京大学教授）

「英語圏文学は、いま—カナダ文学を中心に」

佐藤アヤ子（日本ペンクラブ理事・国際委員長 明治学院大学教授）



浅田次郎氏

### 【お申込み方法】

<お申込みフォーム> →

参加ご希望の方は、帝京大学メディアライブラリーセンター内ホームページ  
または、右記QRコードを読み取り、WEB専用フォームよりお申込みください。

WEB申込締切日：平成29年2月27日（月）17:00まで

【アクセス】帝京大学・八王子キャンパス 〒192-0395 東京都八王子市大塚 359

\*お車での来校はできません。電車・バス等公共交通機関をご利用ください。

\*メディアライブラリーセンターは構内バス停前の茶色の建物です。



### 「帝京大学構内行」バスを利用すると大変便利です。

#### 京王線「聖蹟桜ヶ丘駅」より

- 京王バス2番のりば「帝京大学構内行」（約13分）終点下車
- 京王バス1番のりば「南大沢駅」「多摩センター駅」
- 京王「堀之内駅」（約13分）「帝京大学入口」下車、徒歩約4分

#### 京王線「高幡不動駅」より

- 京王バス1番のりば「帝京大学構内行」（約10分）終点下車
- 京王バス1番のりば「百草団地」「聖蹟桜ヶ丘駅」行き（約10分）「百草団地」下車、徒歩約7分

#### 京王相模原線・小田急多摩線

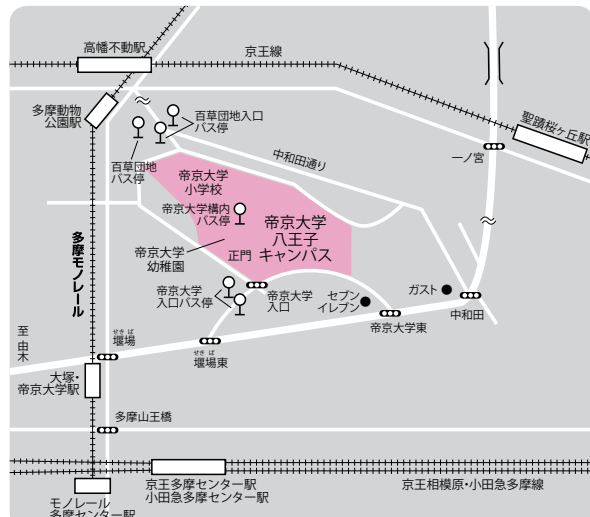
##### 「多摩センター駅」より

- 京王バス4番のりば「帝京大学構内行」（約14分）終点下車
- 京王バス4番のりば「松が谷経由聖蹟桜ヶ丘駅」行き（約11分）
- 「帝京大学入口」下車、徒歩約4分

#### 多摩都市モノレール

##### 「大塚・帝京大学」駅

- 徒歩約15分

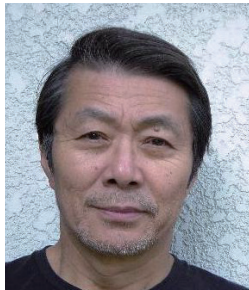


【お問合せ】帝京大学メディアライブラリーセンター 042-678-3407 <https://appsv.main.teikyo-u.ac.jp/tosho/tos.html>

## 【講師紹介】



浅田 次郎（あさだ・じろう）作家。日本ペンクラブ会長（2011年～）。1951年、東京都出身。1997年『鉄道員』で直木賞、2000年『壬生義士伝』で柴田錬三郎賞、2006年『お腹召しませ』で中央公論文芸賞・司馬遼太郎賞、2008年『中原の虹』で吉川英治文学賞、2010年『終わらざる夏』で毎日出版文化賞を、それぞれ受賞。2017年現在、直木賞、柴田錬三郎賞、渡辺淳一文学賞選考委員。近著に『天子蒙塵』（第一巻、第二巻）など。



西木 正明（にしき・まさあき）作家。日本ペンクラブ副会長、獄中作家・人権委員長。1940年、秋田県出身。日本ペンクラブ副会長、獄中作家・人権委員長、作家。早稲田大学中退後、平凡出版で14年余り編集者生活を送り、1980年に独立して作家活動に入る。1980年、デビュー作『オホーツク謀報船』で日本ノンフィクション賞新人賞、1988年『凍（しば）れる瞳』で直木賞、1995年『夢幻の山旅』で新田次郎文学賞、2000年には『夢顔さんによろしく』で柴田錬三郎賞を受賞するなど、受賞歴多数。『ガモウ戦記』をはじめ、テレビドラマ、ミュージカル、舞台化された作品も多数。近著に『水色の娼婦』、『さすらいの舞姫 北の闇に消えた伝説のバレリーナ・崔承喜』など。



田村 さと子（たむら・さとこ）詩人。帝京大学外国語学部教授、帝京大学メディアライブラリーセンター館長。日本ペンクラブ獄中作家委員。お茶の水女子大学卒業後、メキシコ国立自治大学、スペイン国立マドリード・コンプルテンセ大学留学。ガブリエラ・ミストラル研究によりお茶の水女子大学にて学術博士号。同研究により、スペイン王立学士院チリ支部・チリ言語アカデミー外国人会員に東洋人として初めて選出される。主な著書：詩集『イベリアの秋』（第三回現代詩女流賞）、『サラマンドラ』など。エッセイ『南へーわたしが出会ったラテンアメリカの詩人たち』、『百年の孤独を歩く』（第一回ラテンアメリカンド賞）など。訳書『ネルーダ詩集』（ネルーダ生誕百年記念チリ大統領賞）、『つつましい英雄』（マリオ・バルガス＝リョサ著）など。



藤井 省三（ふじい・しょうぞう）東京大学教授。日本ペンクラブ獄中作家委員。1952年生まれ。桜美林大学文学部助教授を経て1988年東京大学文学部助教授、1994年同教授。日本学会協会会員（2005-2014）。専攻は現代中国語圏の文学と映画。主な著書：『魯迅と日本文学——漱石・鷗外から清張・春樹まで』（東京大学出版会、2015）『魯迅——東アジアを生きる文学』（岩波新書、2011）、『中国語圏文学史』（東大出版会、2011）、『村上春樹のなかの中国』（朝日新聞社、2007）、『台湾文学この百年』（東方書店、1998）、『中国映画 百年を描く、百年を読む』（岩波書店、2002）など。中国語訳の著書：『魯迅比較研究』、『文学香港与李碧華』（共著）、『台湾文学這一百年』、『魯迅「故郷」 閲読史』、『村上春樹心底的中国』、『隔空観影：藤井省三華語電影評論集』、『華語圏文学史』ほか。韓国語訳の著書：『中国文学この百年』、『現代中国文化探検』、『中国語圏文学史』、『魯迅』。



佐藤 アヤ子（さとう・あやこ）明治学院大学教授、翻訳家。日本ペンクラブ理事・国際委員会委員長。日本カナダ文学会会長、日本カナダ学会理事。ブリティッシュ・コロンビア大学客員研究員（1991年－93年）《主な著書》『サリンジャー文学の世界』（共著）、『J. D. サリンジャー文学の研究』（共著）、『日米映像文学に見る家族』（共著）、『現代カナダを知るための57章』（共著）、『ケベックを知るための54章』（共著）、『カナダを旅する37章』（共著）。《主な翻訳書》Coral Ann Howells 他『ケンブリッジ版 カナダ文学史』（監修・共訳）、Margaret Atwood 著『負債と報いー豊かさの影』、Margaret Atwood 著『またの名をグレイス』、Margaret Atwood 著『寝盗る女』、Tomson Highway 著『ドライリップスなんてカプスケイシングに追っ払ちまえ』、Michel Marc Bouchard 著『孤児のミューズたち』。《その他》国際交流基金「人物交流事業に関する懇談会」委員（1998－2001）、日本演出者協会「国際演劇セミナー」実行委員（1998－2005）、日本・カナダ・オーストラリア児童演劇祭実行委員（2004）